

CIAS Discussion Paper No.23

『カラム』の時代Ⅲ

マレー・イスラム世界におけるイスラム的社会制度の設計

坪井 祐司・山本 博之 編著



京都大学地域研究統合情報センター

CIAS Discussion Paper No.23

TSUBOI Yuji and YAMAMOTO Hiroyuki (eds.)

The Age of *Qalam* III — Designing of Islamic Social Institutions in the Malay World

© Center for Integrated Area Studies, Kyoto University

46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto-shi,

Kyoto, 606-8501, Japan

TEL: +81-75-753-9603

FAX: +81-75-753-9602

E-mail: ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp

<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>

March, 2012

目次

序『カラム』の時代Ⅲ

マレー・イスラム世界におけるイスラム的社会制度の設計

坪井祐司…………… 4

近代イスラームにおける家族像

連載記事「女性の世界」の分析から

國谷徹…………… 9

1950年代前半のマラヤ情勢とアフマド・ルトフィ

坪井祐司…………… 17

エジプト留学生在が論じたマレー社会の再建

ズルキフリ・ムハンマドにみる1950年代のマレー人知識人の思想の系譜

山本博之…………… 25

マレー・コミュニティにおける国民教育制度に関する議論

金子奈央…………… 32

1950年代の「強制婚」論議にみるカラム誌の改革論理

光成歩…………… 40

執筆者一覧

坪井 祐司(つばい ゆうじ)

東洋文庫研究員。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。専門はマレーシア近代史。研究テーマはイギリス領マラヤの植民地行政とそれに対するマレー人を中心とした現地の人々の関わり。主な論文は、「英領期マラヤにおける「マレー人」枠組みの形成と移民の位置づけ：スランゴル州のプンフルを事例に」(『東南アジア 歴史と文化』、2004年)。

國谷 徹(くにや とおる)

専門はインドネシア近代史。主な研究テーマは植民地時代(オランダ領東インド)におけるイスラム史、特に19世紀末のインドネシア地域からのメッカ巡礼。主な論文は「19世紀末における蘭領東インドからのメッカ巡礼について：巡礼パスポート制度の展開過程を中心に」(『日蘭学会会誌』29-1、2004年)。

山本 博之(やまもと ひろゆき)

京都大学地域研究統合情報センター准教授。専門はマレーシア地域研究／現代史。研究テーマは、イスラム教圏東南アジアの民族と政治、アジアの災害対応、地域研究方法論。著書に『脱植民地化とナショナリズム——英領北ボルネオにおける民族形成』(東京大学出版会、2006年)、編著書に *Bangsa and Umma: Development of People-grouping Concepts in Islamized Southeast Asia* (Kyoto University Press, 2011)がある。

金子 奈央(かねこ なお)

東京外国語大学大学院総合国際学研究科博士後期課程在籍。専門はマレーシア地域研究／比較教育学。研究テーマは、マレーシア・サバ州における原住諸民族の教育活動およびマレーシアの国民統合と教育。主な論文は「教育にみる国民統合政策の展開：「公民および市民性の教育」科目を手掛かりに」(『季刊マレーシアレポート』、2009年)。

光成 歩(みつなり あゆみ)

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻博士課程在籍。専門はマレーシア地域研究／イスラーム司法制度。研究テーマはマレーシアにおけるイスラーム司法制度の展開と「改宗問題」。主な論文は「現代マレーシアにおける「改宗・棄教」をめぐる語りの構造：非ムスリムによる「リナ・ジョイ係争」への支持言説を手がかりに」(『アジア地域文化研究』、2009年)。

CIAS Discussion Paper No.23

坪井祐司・山本博之 編著

カラムの時代Ⅲ

マレー・イスラム世界におけるイスラム的社会制度の設計

発行 2012年3月

発行者 京都大学地域研究統合情報センター
京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501
電話：075-753-9603
FAX：075-753-9602
E-mail: ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp
<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>



Center for Integrated Area Studies, Kyoto University
Kyoto, Japan